

【活用にあたって】

「持続可能な社会の実現」という言葉をかなり前から耳にするようになっていきます。今年の猛暑や豪雨、台風被害などを通して、環境の変化を大人だけでなく子どもたちも実感したことでしょう。

記事には「微小プラ」が人の便からも見つかっていると書かれています。このことはテレビでもやっていましたが見ていなければ知らないままです。この記事を読んだとき、子どもたちはどう感じるでしょう。人は動物のようにプラごみを口にすることはありません。それなのに便から見つかる。知らないうちに人の口に入っているの？

感じる怖さや疑問から、学習への探求心が深まることでしょう。「食物連鎖」についても「微小プラ」を通して理解を深めることができると思います。

解答例

問 1 : 微小な「マイクロプラスチック」

問 2 : 海 ・ 表面に有害物質を吸着する

問 3 : 3 2 0

発展 : プラスチックに限らず、ごみを出さない工夫をすることやごみを分別することなど、まず自分ができることから考えられるとよい。